

会 議 録

会 議 名	第3回 第6次嵐山町総合振興計画審議会 及び 第3回第2期嵐山町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会					
開 催 日 時	令和2年12月22日（火）		開 会	13時30分		
			閉 会	16時30分		
開 催 場 所	嵐山町役場 町民ホール					
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議事録署名人の指定 4 <第1部>第6次嵐山町総合振興計画審議会 議 事 (1) 総合振興計画原案について (2) その他 5 <第2部>第2期嵐山町総合戦略策定委員会 議 事 (1) 総合戦略原案について (2) その他 6 その他 7 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数	0人		
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	権田 活一	出席	副会長	高坂 英夫	出席
	委 員	嶋本 佳則	出席	委 員	小澤 秀	出席
	委 員	吉野 敦	出席	委 員	荒井 忠正	出席
	委 員	関根 盛敏	出席	委 員	青木 裕子	出席
	委 員	宮本 紀子	出席	委 員	田中 操	出席
	委 員	荒神 文彦	出席	委 員	久保田 尚	欠席
	委 員	石川 博幸	出席	委 員	佐藤 輝武	欠席
	委 員	山口 聡	出席	委 員	鹿倉 貞二	出席

	委 員	武城 文明	出席	委 員		
事 務 局	山岸課長			青木副課長		
	藤野主席主査			田邊主事		

次 第	顛 末
1 開 会	山岸地域支援課長
2 あいさつ	<p>(権田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回の第6次嵐山町総合振興計画審議会及び総合戦略策定委員会となる。委員の皆様においてはお忙しい中、またこのような状況の中、出席感謝する。今回は、第2回の会議の意見が反映された原案が示された。総合振興計画は計画的な行政運営の指針、住民の活動の指針の役割があると認識している。総合戦略は人口減少の克服、地方創生を目的として策定される。各委員の皆様のご意見をいただきたい。また、コロナの感染拡大が続いており、効率的に会議を進めていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。
3 議事録 署名人の指定	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、今回会議録署名委員については関根盛敏委員、青木裕子委員にお願ひしたい旨を説明。了承された。
4 議 事 (1) 総合振興計画 原案について	<p><第1部>第6次嵐山町総合振興計画審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権田会長が議長となり、議事進行を行う。 ■第1章 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、第1章の修正について説明。 <第1章 意見なし> ■第2章 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、第2章の修正について説明。 (権田会長) ・目標人口は前回までは16,500人だったか。 (事務局) ・前回までは16,500としていましたが、人口ビジョンの目標値とあわせ人口目標人口を16,340人としました。 ■第3章 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、第3章の修正について説明。 (権田会長) ・子どものびのび成長プロジェクトの目指す姿の部分を修正したということだが、他は前回と変わらないのか。 (事務局) ・文言など若干の修正をしましたが、大きな修正はありません。

(権田会長)

- ・重点的プロジェクトは10年間の期間で横断的に進めていくものなのか。

(事務局)

- ・10年間で進めていきます。近い将来進めていく可能性のある小中学校再編や駅西口の整備、花見台や川島地区の工業団地・産業団地、都市計画道路の整備等で横断的な対応が必要となるものを重点プロジェクトとしています。また、P.15の分野ごとのまちづくりの改善すべき項目に該当する部分についても重点プロジェクトに位置付けています。

■第4章

【第1節 協働のまちづくり】

- ・事務局より、第1節の修正について説明。

<第1節 意見なし>

(荒神委員)

- ・意見でなくお願いとなるが、全体的に修正が多いので、会議終了後、修正された内容をなるべく早めに届けていただきたい。読み込んだ内容と変わっていることと結果がどうなったかという意味でもよろしくお願ひしたい。

【第2節 文化・学びのまちづくり】

- ・事務局より、第2節の修正について説明。

(荒神委員)

- ・第2節の目標値は令和7年度と令和12年度で同じものが多いが、令和7年度が頂点でそれ以降伸びないのか、維持するために何かをしていくのかが分かると指標として価値がある。
- ・P.2-14の博物誌編さん事業の指標は削除ということだが、総合戦略内でデジタルの活動を進めていこうという指標が散見される中、活動が止まっているからやめるというのはもったいないと感じたので、活かす方向を考えていただきたい。

(高坂副会長)

- ・将来更新される予定はないのか。

(事務局)

- ・紙媒体のものをHPで閲覧できるようWEB対応にしたというのが始まりであり、第5次総合振興計画策定時にホームページの閲覧者数を指標として設定しましたが現在、紙媒体からの移行作業は終了しています。

・嵐山に縁ある人物、歴史に関する事柄がメディアで取り上げられると閲覧者数が一時的に増えるというのが現状であり、今回は更新作業の予定もないため、指標からは外そうと考えています。ただ、指標の設定に関わらず嵐山の歴史をPRしていくことは、町内外に対しまちの魅力を訴える材料になるので検討していきます。

(宮本委員)

・自分達の誇りあるまちということで考えるととても大切な意見である。指標でなくとも、基本的な方針の中に記載を組み込めないか。

(荒神委員)

・P.2-15 施策の内容4)にWEB博物誌に関する記載があるが、今説明を受けて博物誌に対する認識が薄いというのが分かった。であれば、こういったものを管理していくことに対し、新たなアクションを起こされてはいかがか。

(田中委員)

・閲覧者数やTwitterのフォロワー数など、目標数に拘らなくてもいいのではないか。

(事務局)

・もう少し大きな指標なり事業を担当課と考えていきます。
・人口が減っている中で数値を維持することが難しい目標もあり、特に教育は子どもに関する指標が多く、担当課と協議した結果、令和7年度と令和12年度を同じ目標値としているものがあります。

(権田会長)

・P.2-6で学力を伸ばした児童生徒の割合の指標があるが、学力を伸ばすような施策は入れなくて良いのか。施策の内容1)で集約していると考えても良いのかも知れないが。

(事務局)

・具体的な施策の詳細については、各課が策定している計画等で記載をお願いし、総合振興計画では概念的なもの主に記載させていただきます。

【第3節 支えあうまちづくり】

・事務局より、第3節の修正について説明。

(青木委員)

・P.3-11 今回、ぷらっと嵐トレの指標が削除されているのは何故か。住民が中心となった活動で、町でも広まりつつある。

(事務局)

- ・ぷらっと嵐トレについては当初、P. 3-11 の 3-3-(2)介護保険制度内に記載していましたが、担当課と協議した結果、P. 3-9 の 3-3-(1)高齢者の生きがいづくり・支援に移動しました。ただ、地区の自主的な活動であるため、町として継続して支援はしていきますが指標としては記載しないこととしました。

(田中委員)

- ・「不妊」という言葉は当事者にとってプレッシャーを感じることも多い。「合計特殊出生率」もプレッシャーになると思うので、少し配慮があると良いと思う。周りの自治体ではこういう言葉を使っているが、嵐山町では違うというアピールにもなる。

(事務局)

- ・担当課と検討させていただきます。

【第4節 自然が生きるまちづくり】

- ・事務局より、第4節の修正について説明。

(宮本委員)

- ・P. 4-7 の 4-2-(2)ごみの適正管理について、自然環境を守るため将来に向けてごみを減らす、公害を少なくするといったような文言を入れ込んでほしい。

(事務局)

- ・P. 4-7 の 4-2-(2)ごみの適正管理に目的の記載を追加します。

【第5節 安全・安心のまちづくり】

- ・事務局より、第5節の修正について説明。

(事務局)

- ・本日欠席の久保田委員から道路整備の中に交通安全対策の内容も一緒に盛り込んでどうかという意見をいただきました。こちらでも検討したいと考えています。

(荒神委員)

- ・P. 5-13 の企業誘致事業による立地及び拡張企業数の指標は各年の目標値か。

(事務局)

- ・累計の目標値です。今回新たな指標となるので、現況値を無記載として、目標値については令和7年度が3件、令和12年度を6件とします。これは累計の数字なので、最初の5年で3件、次の5年で3件となります。

(嶋本委員)

- ・ P.5-3 防犯に関連して確認だが、商店街の各店舗で街灯が切れているところがあり、暗く見えてしまう。町と商店街が連携して維持していくことはできないか。

(高坂副会長)

- ・ 補足すると、商店街に街路灯設置委員会があり、積立金で街灯を設置してきたが、積立金がなくなってきている状態。メーカーからリースの話もきているが保留中となっている。防犯上街灯がなくなるのはまずいと考えている。町でも予算付けていただけるとありがたいが、町も商工会もお金がない。

(小澤委員)

- ・ 先だって農業委員会で農地調査会があり、企業の農業参画をこれから2～3社増やそうということだった。企業の農業への参画によって、踏むべき手順を踏まなくなるようなことを防ぐための施策をお願いしたい。

(高坂副会長)

- ・ 確かに農業委員会の立場だとそうかもしれない。ただ、ルールが実際の事業を邪魔する場合もある。片方の意見だけでなく、両面に立ち全体を見てルールを変えていくべきである。新しいことが始まると問題は必ず生じるので、柔軟に対応していかなければならない。

(事務局)

- ・ 法律的な所が一番であり個別の対応となりますので、総合振興計画への記載は難しいかと考えます。

【第6節 推進方策】

- ・ 事務局より、第6節の修正について説明。

(権田会長)

- ・ P.6-4の基本的方針の文章が増えているが説明がほしい。

(事務局)

- ・ 「公益性が高い日常不可欠なサービス」～が前回なかった部分です。内容としては、町の財政が厳しい中でどこを軸として優先的に事業を進めていくかというもので、第4次総合振興計画(後期)から掲載しています。

(権田会長)

- ・ 概念的な記載内容からある程度明確化したので良いと思う。狙いとして何かあるのかと感じた。
- ・ P.6-5の財政の指標で参考値というものはあるのか。ある程度だと国の指導が入るという事が調べて分かった。参考値が分か

<p>(2) その他</p>	<p>れば、町民も意識するのではないか。</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載については検討していきます。国の言う財政の健全化基準というのはすべてクリアしています。貯金が多い少ないということを表しているのが財政調整基金比率で、これが5%を切ると国の指導が入ると聞いています。嵐山町は収入である標準財政規模が42億程度で、基金が2億5000万なので、比率にすると5.8%になります。有事の際への備えなどは財政調整基金なので、なるべくこの比率を上げていきたいと考えています。町は現状県内63市町村中最下位で、全国町村で見ても下から10番目となっています。 <p>■その他</p> <p>(権田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体として意見があれば、一言お願いしたい。 <p>(嶋本委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見た感じではだいぶまとまってきたと感じる。 <p>(小澤委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私事だが昨年ひ孫ができた。子育ての支援を十分に充実させてほしい。 <p>(吉野委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>(荒井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の発展は教育にあるので、人材を育てることにお金をかけるべきだと思う。隣の滑川町ではそれに成功しているので、ただ真似をするだけでなく、追い越すつもりで協力しながらやっていただきたい。 <p>(関根委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、小中学校の統合が進んでいる。町外から世帯ごと流入してくるような、魅力的な学校を作ってもらい、「教育地区」として人口を増やすという方向に進んでもらうとこれから先、発展していくと考える。 <p>(青木委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回出された案よりも非常に分かりやすく仕上がっている。これからも安心・安全、住み続けたいまちに基づいた、多方面へのアプローチを盛り込んだ案となっていると思う。施策を実行するのも人、幸せを感じるのも人。人を大事にする笑顔あふれるまちづくりを進めていただきたい。
----------------	--

(宮本委員)

- ・色々勉強させていただいた。
- ・前回、「協同」と「協働」について言及したが、心を一つにして働くという意味はどちらにもあるが、支えあう・お互いが助け合うといった精神性は「協同」でなければ加わらない。町づくりの皆様の考えを聞いていても、精神的な意味を込める方が良いと思った。

(荒神委員)

- ・未来をつくるという意味でのこの計画だと思うので、10年後に向けて、どのようなことをこれから準備できるかというのを皆さんと話し合えたのは非常に有意義だった。

(石川委員)

- ・今回の総合計画に関わられて非常に勉強になった。特に重点プロジェクト3つは非常に分かりやすい。何よりも、前回の我々委員から出た意見を真摯に受け止めて、施策に反映させていただき感謝申し上げます。

(山口委員)

- ・皆さんの話し合いによって素晴らしい計画ができて非常に良かった。これからこの計画に基づき、職員、町民が計画的に実現に向けて頑張る良い町にしていきたい。

(鹿倉委員)

- ・前回指摘したごみの量についても、適切に修正いただき感謝申し上げます。自身が住む町に比べ、ごみの量が少なくて驚いた。人口が多くなるといい加減になるのだなと反省した。

(武城委員)

- ・参加させていただき感謝申し上げます。住民の方に計画の作成過程を是非PRいただき、さらにその住民がPRと繋げていければ良い。5年後にまた一緒に意見交換させていただきたい。

(田中委員)

- ・教育に関して力を入れるべき。今のままの教育の質だと、教育を売りにして呼び込んだとしても、裏切ることになってしまうので、相当な努力改善が必要だと思う。滑川は教育の成果が出ている。小川町も駅前商店街が発展してきていて、観光の方も増えてきている。そういったところを参考にして、いいところを吸収してどんどん改善した方が良いと感じた。

<休憩>

	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見などがあれば12月25日(金)までにご連絡ください。1月からはパブリックコメントを実施します。 ・今回の会議前に発生した修正箇所を反映したものは明日配布し、町外の方には郵送します。
<p>5 議 事 (1) 総合戦略原案 について</p>	<p><第2部>第2期嵐山町総合戦略策定委員会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き権田会長が議事進行を行う。 <p>■総合戦略原案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第2期嵐山町総合戦略の策定にあたって 2 第2期嵐山町総合戦略の体系 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、1、2の修正の説明。 <意見なし> <p>■3 第2期嵐山町総合戦略</p> <p>【基本目標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、基本目標1の修正について説明。 <意見なし> <p>【基本目標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、基本目標2について説明。 <意見なし> <p>(高坂副会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DMOの記載はこのままで、更新しなくて良いのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DMOの記載は担当課と相談し、修正がある場合は修正させていただきます。 <p>【基本目標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、基本目標3について説明。 <意見なし> <p>【基本目標4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、基本目標4について説明。 <意見なし> <p>(権田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体として何か意見はあるか。 <p>(荒井委員)</p>

<p>(2) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ DMOは、町にとってマイナスになることは無いと思う。プロのマーケティングが入り、営利的な方法を考えるので、関心がある。嵐山はどんどん良いまちになっていくだろう。 (権田会長) ・ これは1年ごとに検証をするのか。 (事務局) ・ 1年ごとに検証します。総合戦略は今年度策定し、この後、検証委員会を立ち上げて、内容を毎年度検証していただくこととなります。 (宮本委員) ・ DMO、地域商社について具体的な話を聞きたい。 (事務局) ・ 今までの行政では限られていた、販売や情報分析、マーケティングというのを専門的に行う方に組織に参加していただくという話を聞いています。商品の生産から販売まで行うというのが地域商社の目的の一つとなっています。 <p>■その他 (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の会議はパブリックコメントを経て、大きな変更がなければ書面で開催したい。 <異議なし>
<p>8 閉 会</p>	<p>高坂副会長</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p style="text-align: center;"> 令和3年1月18日 署名委員 <u> 関根 盛敏 </u> 令和3年1月18日 署名委員 <u> 青木 裕子 </u> </p>	